

第43号

宇障連

福田富一栃木県知事揮毫

- ・発行責任者・
会長 麦倉仁巳
- ・編集・問合わせ先・
宇都宮市障害者福祉会連合会
☎320-0806
宇都宮市中央1-1-15
市総合福祉センター3F
- ・宇障連事務局・
TEL 637-7771
FAX 639-0663
- ・手話通訳専用・
TEL・FAX 636-1219
- ・印刷所・
藤崎印刷株式会社

「わく・わくショップU」特別販売会を開催

市役所1階にある障害者支援施設等の製品販売所「わく・わくショップU」が、5月にオープン15周年を迎えました。「わく・わくショップU」は、障害のある方が働く施設の工賃の向上を目的として、2009年5月にオープンしました。市庁舎内での常設店舗としては、全国でも先駆けの取り組みでした。

店舗の運営は、市から受託した「宇都宮市工賃向上等支援事業」の一環として、当初から宇障連が担っています。

「常設販売」として店舗内で手作り製品の販売をするものと、日替わりで施設の利用者と職員が直接お客様に販売する「特設販売」があり、特設販売ではお昼の時間に、お弁当やパン、焼き菓子などの食品や季節の野菜が店頭に並びます。

開所当時の参加は、11施設で、売上額は約764万円。昨年2023年度の参加施設は、57施設になり、売上額も約1820万円に上っています。

特別販売会に22施設

5月17日には、15周年を記念した特別販売会が開催され、22施設が出店し、パン、弁当、焼き菓子、野菜、手作り製品などが販売され、多くの来場者で賑わいました。



▲15周年記念特別販売会



▲15年前の開所式

販売会に先立ったセレモニーでは、佐藤栄一市長の挨拶の後、宇障連の麦倉会長の挨拶があり、15周年記念特別販売会で設置したタイムカプセルが開封されました。



わく・わくショップUのSNSは情報がもりだくさん

ホームページ

わく・わくショップUの商品や出店施設の紹介、イベントの情報などを随時、更新しています。



ホームページ

Instagram

新商品や人気商品をご紹介します。ストーリーズやリール動画もお見逃しなく。



Instagram (Instagram)

X

特設販売（お弁当やパン、野菜など）の出店状況をリアルタイムで更新しています。



X (エックス)

ぜひご覧ください。

～宇都宮市からのお知らせ～

「第6次宇都宮市障がい者福祉プラン」及び「第7期宇都宮市障がい福祉サービス計画・第3期宇都宮市障がい児福祉サービス計画」を策定しました。

国の動向や本市の状況、市民ニーズ（障がい者団体との意見交換やアンケート調査等）を踏まえながら、地域共生社会の実現に向け、親なき後を見据えた住まいの場の確保、乳幼児期からの切れ目のない支援、障がいへの理解の一層の促進などの課題に対応し、「障がいのある人が 住み慣れた地域で いつまでも自分らしく 生き生きと 安心して暮らせる 地域共生社会の実現」を目指し、障がい福祉施策・事業を計画的に推進するため、新たな計画を策定しました。

計 画 の 特 徴

① 障がいのある人の生活の更なる充実

令和4年に本県で開催された「第22回全国障害者スポーツ大会」を契機と捉え、地元民間企業等と連携を図りながら、文化芸術・スポーツ活動等の社会参加を促進するとともに、親なき後への備えや地域移行に向け、地域生活支援の一層の充実を図ります。

② ライフステージに応じた切れ目のない支援の強化

乳幼児期の早い段階から、誰一人取り残さず、健やかな成長を後押しし、ライフステージに応じて、地域の保健・医療・福祉・保育・教育・就労等の関係機関が連携を図り、保健と福祉のまるごと相談窓口「エールU」などと連携した相談体制の充実など、切れ目のない一貫した支援の強化を図ります。

③ 合理的配慮の提供促進・障がいの特性に応じた情報アクセシビリティの向上

障がいへの理解の一層の促進に向け、民間事業者等における合理的配慮の提供を促進するとともに、デジタルの活用による障がい特性や個々のニーズに応じた情報提供の充実を図るなど、情報アクセシビリティの向上に取り組みます。

今後の取組（令和6年度～令和11年度）

【拡充】 重度障がい者の受け入れができるグループホームの設置促進

重度の障がい者の住まいの場を確保するため、受け入れに必要なグループホームのバリアフリー改修や介護備品の購入に対する費用を助成します。



〈プランの指標〉

重度障がい者のグループホーム利用者数
(令和4年度) 194人 → (令和11年度) 410人

【新規】 障がい者支援アプリの導入

必要な情報をいつでもどこでも、より簡単に取得できるよう、令和6年度にスマートフォンアプリを導入します。



〈主な機能〉

- 障がい福祉サービスの検索機能
- 福祉に関するお知らせ配信機能
- 事業所情報や空き状況の検索機能
- 障がい福祉課窓口混雑状況お知らせ機能 など



【継続】 地域生活支援の充実

地域で安心して暮らせるよう、利用者のニーズを踏まえた適切な福祉サービスの提供や日常生活用具の給付を行います。



【拡充】 幼少期からの障がいへの理解促進

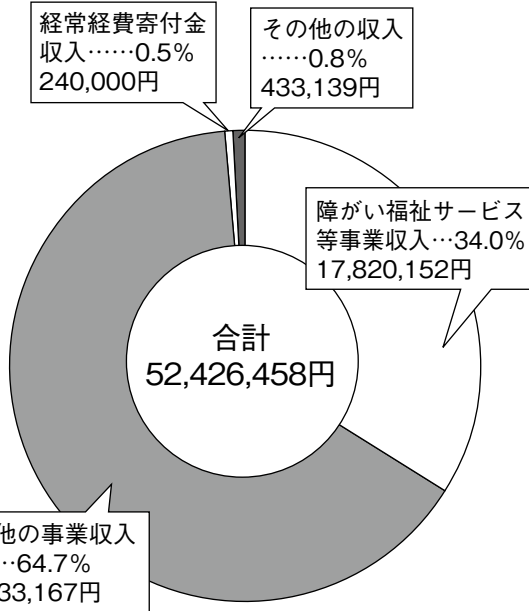
幼少期から障がいへの理解促進を図るため、小学校において、これまで実施してきた盲導犬ふれあい教室に加え、障害者当事者を講師とする講話や、障がい者スポーツを体験できる教室を開催します。



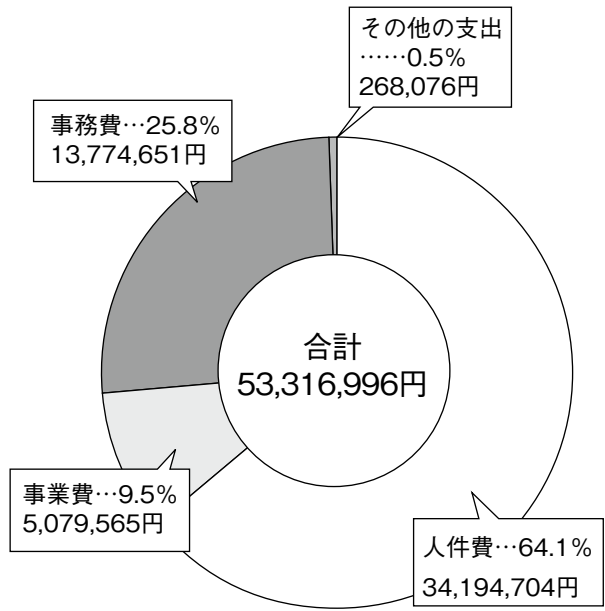
今後とも、関係者の皆様と連携しながら、ライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援を受けることができる体制づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、御支援と御協力をお願い申し上げます。

令和5年度 決算報告

収入内訳



支出内訳



令和6年度 宇都宮市障害者福社会連合会役員

役職	氏名	部会
会長	麦倉 仁巳	肢体
理事	駒崎 茂	肢体
〃	山崎 富子	父母
〃	半田 江美	聴覚
〃	竹内 清	河内
〃	田中 雄二	視覚
〃	高根沢 昭	発声
〃	小杉美津江	学識
常務理事	南木 孝昭	事務局
監事	相原 節子	父母
〃	今泉 弘美	学識
〃	中山 悦夫	学識
評議員	佐藤 紀夫	肢体
〃	小口 巖	肢体

役職	氏名	部会
評議員	増渕 陽子	肢体
〃	田邊 静子	河内
〃	櫻井 和子	河内
〃	小野 和良	視覚
〃	岩井 恵	視覚
〃	関矢 誠	視覚
〃	稲川 和彦	聴覚
〃	齋藤 幹治	聴覚
〃	石井 正子	聴覚
〃	小林 啓子	父母
〃	市瀬 俊子	父母
〃	小森 和江	父母
〃	高橋 勝巳	発声

役職	氏名	現役職等
評議員	藤原 由房	宇都宮市自治会連合会会長
〃	鈕持 幸子	宇都宮市民生委員児童委員協議会会長
〃	松本カネ子	宇都宮市ボランティア協会会長
〃	宮前 俊哉	宇都宮市社会福祉協議会事務局長

特別職

役職	氏名	現役職等
相談役	小島 泰久	宇都宮市保健福祉部長
相談役	中村 富頼	宇都宮市肢体障害者福社会顧問
顧問	秋山 昌紀	宇都宮市社会福祉事務所長

苦情解決第三者委員

久保 哲夫	元宇障連事務局長
-------	----------



ボウリング大会

2月10日(土)、インターパーク+1(プラスワン)ボウリング場で、第28回宇障連ボウリング大会を開催しました。

この大会でしかボウリングをしないという方や、この日のために練習をしてきた方、仲間と会うために来た方など、会員の皆さんがおののちにボウリング大会を楽しみました。

終了後には、上位3名と飛び賞の方に賞品が贈られました。

令和5年度の寄付者

・宇障連を支援する会 横尾光夫様
ありがとうございます。

地域交流事業のお知らせ

今年度の地域交流事業は「チャレンジ！障がい者スポーツ!!」(障がいのある人もない人も共に楽しもう)と題し、障害者スポーツの体験を楽しんでもらおうという企画です。この企画は、2020東京パラリンピック、2022全国障害者スポーツ大会とちぎ大会のレガシーとして「障害者スポーツ」の普及に位置付けたものです。

期 日 令和6年9月7日(土)

会 場 栃木県障害者スポーツセンター
ター(わかくさアリーナ)

時 間 9時30分 開場
9時50分 オープニング
10時5分 スポーツ体験
13時 終了

競 技 車椅子バスケットボール、
ボッチャ、サウンドテーブル
テニス、フライングデ
ィスク等を予定

※競技種目や時間等、変更する場合があります。詳しくは宇障連ホームページでご確認ください。

今後の行事予定

- 《7月》
6日(土) 野外交流会
〜あしかがフラワーパーク〜
- 《8月》
29日(木) 栃木県民福祉のつどい
- 《9月》
7日(土) 地域交流事業
- 21日(土) うつのみやふれあい文化祭
- 《10月》
19日(土) うつのみや
ふれあいスポーツ大会



▲過去の地域交流事業の様子

4 S T T

サウンドテーブルテニス



アイマスクを着用したプレーヤーが卓球台から4.2cm上げたネットの下を、金属球が4つ入った卓球用の球を転がして打ち合う競技です。球が卓球台から落ちないように卓球台のエンドとサイドにはフレームが取り付けられています。

打った球が、相手のラケットに触れる前にエンドフレームに当たれば得点。ただし、フレームに当たっても、球が台から落ちた場合や、打った球がネットに触れて、相手コートに達しなかった場合は、相手の得点になります。

1ゲーム11点、5ゲームマッチで3ゲーム先取したプレーヤーが勝ちとなります。

球に回転をかけたり、速く打ったり遅く打ったり、巧みな技で相手を惑わせます。

S T Tは昭和8年、当時の足利盲学校校長の沢田正好氏が考案した「盲人用ピンポン」が発祥と言われています。当初は2つの卓球台を合わせて使っていたため継ぎ目ではボールが跳ねてしまったというエピソードもあるそうです。



- 《11月》
23日(土) 宇都宮市民福祉の祭典
30日(土) ハッピーフェスティバル
- 《12月》
3日(火) 栃木県
身体障害者福祉のつどい

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳 点訳グループ
「かたつむり」の皆さん

音訳 デイジー全文訳センター
「アクセス」の皆さん

ご協力ありがとうございました。